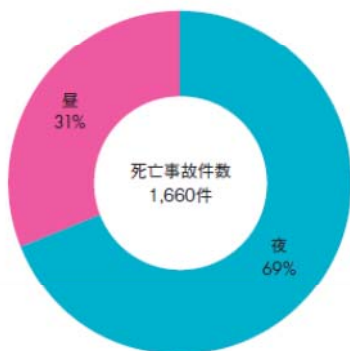


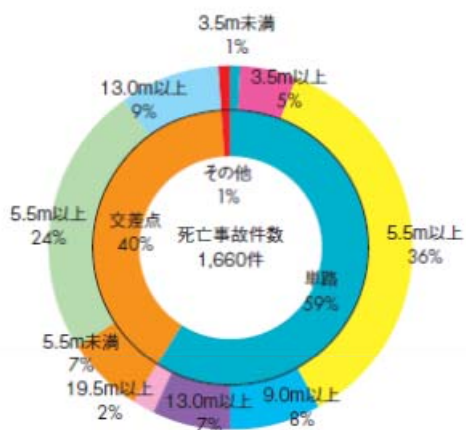
## 歩行者が関わる事故の実態

### 歩行者が関わる事故の状況①

昼夜別の歩行中死亡事故の割合



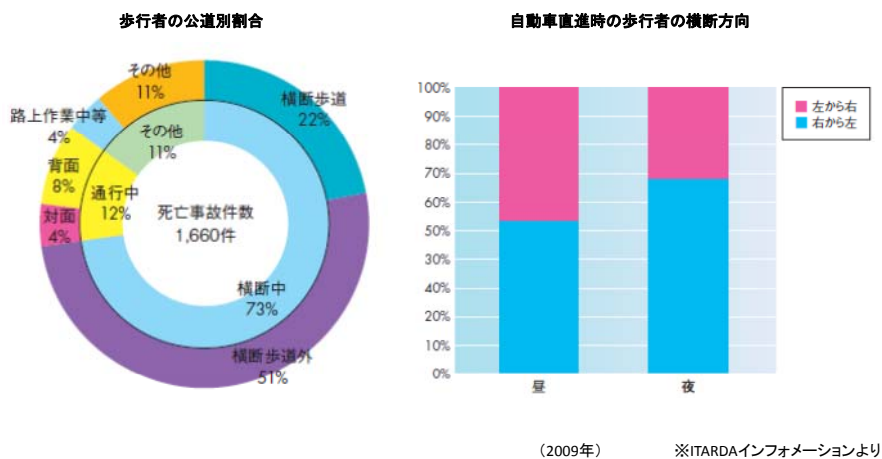
道路形状／車道幅員別の歩行中死亡事故の割合



(2009年) ※ITARDAインフォメーションより

- 歩行者の死亡事故は「夜間」の発生が多く、道路の形状としては、5.5m以上9m未満の単路での事故が多い。

## 歩行者が関わる事故の状況②

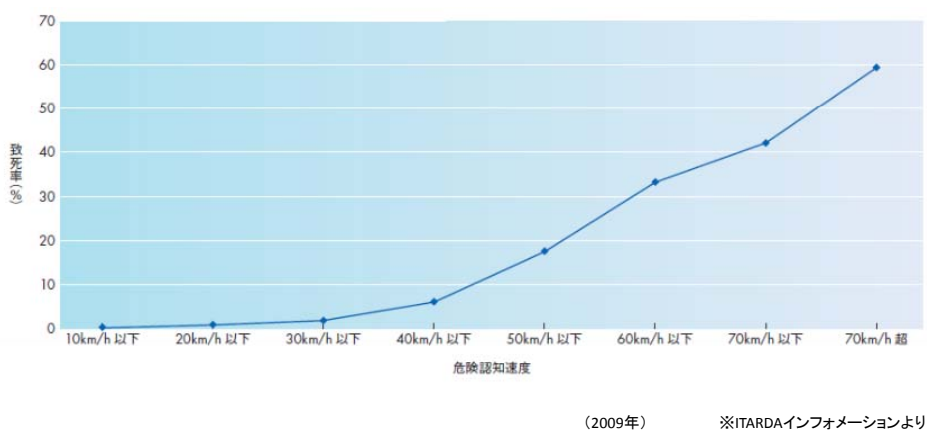


➤ 歩行者の死亡事故は「横断歩道外」を「横断中」の事故が多く、夜間に車両から見て右から左に横断するが多い。

3

## 歩行者が関わる事故の状況③

第一当事者が自動車の歩行者死傷事故における危険認知速度と致死率



致死率は危険認知速度が30km/hを超えると徐々に上昇し、速度が増えるほど急激に大きくなっている。

4